

核兵器廃絶と恒久平和を実現しよう



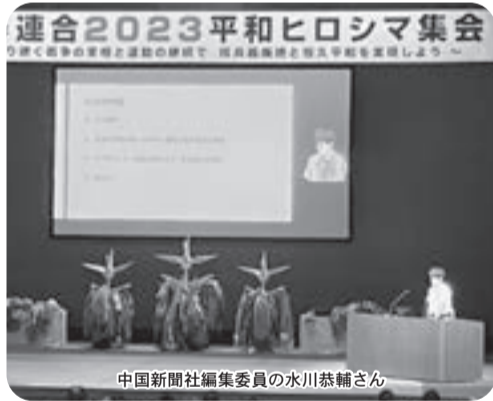
2023 平和行動 in 広島
8/5(土)~6(日)

8月5日(土)、「連合2023平和行動in広島」が開催され、連合愛媛からは青年委員会・女性委員会の役員と構成組織の若人9名と事務局1名で参加しました。沖縄からリレーされた平和行動の第2弾として、8月5日(土)は、午後から行われたピース・ウォークに参加し、連合広島青年委員会・女性委員会メンバーから平和記念公園内の慰霊碑について説明を受け、それぞれの慰霊碑に込められた平和への願いを知ることができました。

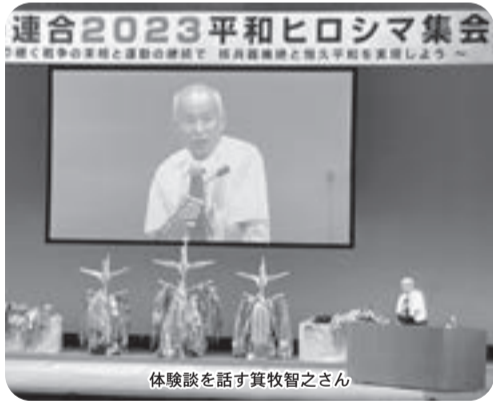
その後は会場を移して行われた「被爆78年連合2023平和ヒロシマ集会」では、「G7サミットとヒロシマ」と題して、水川恭輔 中国新聞社編委員の講演と被爆体験証言として、箕牧智之さんの体験談をお聞きし、改めて戦争や原爆の悲惨さを思い知り、平和活動の重要性を再認識するとともに、二度とこのような戦争を起すことはしないと強く感じました。

平和アピールでは、全国からの参加者(1,735名)全員で核兵器廃絶と世界の恒久平和の実現をめざしていくことを誓い合いました。8月6日(日)には平和祈念式典に参加し、黙祷を捧げるとともに改めて恒久平和を祈りました。

- 8/5~6広島【参加者10名】
- 中川 美保 (J.P.労組)
 - 寺川 雄樹 (東レ労組)
 - 東 優志 (帝人労組松山支部)
 - 齋藤 幹大 (J.A.M.井関農機労組)
 - 佐川 之英 (J.A.M.井関農機労組)
 - 谷上 智洋 (J.A.M.井関農機労組)
 - 萩山 航 (J.A.M.井関農機労組)
 - 西尾 雅樹 (伊予鉄労組)
 - 篠原 颯太 (伊予鉄労組)
 - 寺田 淳泰 (連合愛媛)



中国新聞社編委員の水川恭輔さん



体験談を話す箕牧智之さん



連合愛媛 2023 政策学習会を開催

8月28日(月)に、2023政策学習会が開催され、連合愛媛の役員および政策委員会委員、構成組織役員の計35名が参加しました。

学習会では、連合本部 総合政策推進局の富田総局長より、連合がめざす社会像について触れられ、「働くことに最も重要な価値を置き、誰もが公正な労働条件の下、多様な働き方を通じて社会に参加でき、社会的・経済的に自立することを軸とし、それを相互に支え合い、自己実現に挑戦できるセーフティネットが組み込まれている活力ある参加型社会(働くことを軸とする安心社会)をめざしている」と説明がありました。

次に、連合の政策提言に関し、42項目からなる重点政策のうち、①パートナーシップ構築宣言②公平・公正な社会を実現する基盤としてのマイナンバーカードの活用③「給付付き税額控除」の仕組みづくり④雇用安定に向けた財政措置と地域雇用喪失・職業能力開発の強化⑤困難な問題を抱える女性へのセーフティネット強化など多岐にわたる内容について、限られた時間のなか、わかりやすく説明がされ、良い学びの機会となりました。



連合本部 総合政策推進局 富田珠代 総局長



2023 平和行動 in 長崎
8/8(火)~9(水)

8月8日(火)に、連合平和4行動の「平和行動in長崎」が開催されました。

今回は台風の影響により、当初9日に予定していたフィールドワークや万灯流しも中止となり、長崎市の公式行事「長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典」も、屋内会場で来賓なしでの開催となりました。

連合愛媛からは3名での参加予定でしたが、日程変更等もあり事務局1名(全国から1,174名)で参加しました。

集会では、地元連合長崎の高藤会長と主催者を代表して連合の清水事務局長よりご挨拶があり、国際情勢を見ても唯一の被爆国である日本のメッセージが届いていないことや、核兵器廃絶どころか核戦争の脅威がますます高まっていることにも触れ、改めて、長崎からも核兵器廃絶や世界の恒久平和の実現に向け、取り組みを進めていくことの重要性についてのメッセージが発信されました。

その後、被爆者の訴えとして、当時小学6年生の時に被爆された山田一美さんの実体験のお話がありました。原爆が投下された当日の状況や、その後次々と亡くなっていく同級生、戦争や特に原子爆弾が多くの命を一瞬で奪い、その後も被爆による病死や後遺症で苦しむなど、原子爆弾がもたらした計り知れない惨状について語られました。戦争は二度と起してはならない、戦争を経験した人が少なくなっている中で、私たちも、次世代へも歴史や平和への願いを語り継いでいく必要があることを認識しました。



山田一美さんによる被爆者の訴え



フィナーレ (For The Peace of World)

愛媛県最低賃金

[発効日] 10月6日



1時間

897円に改正!

昨年度より44円引き上げ

NEWS

最低賃金